

	<h2>都内初！アイメイト（盲導犬）の訓練を区役所庁舎内で実施 ～西武鉄道とも連携し、電車の乗降訓練も実施～</h2>
<p>日 時</p>	<p>7月26日(水)</p>
<p>場 所</p>	<p>練馬区役所本庁舎・職員食堂ほか</p>
<p>26日、練馬区役所庁舎を使用したアイメイト（盲導犬）の訓練が行われた（都内初）。これはアイメイトの実践訓練の場として、区役所を提供したものの。</p> <p>区では、訓練開始に合わせて、24日には区役所正面入り口横に補助犬用トイレを設置するなど環境を整備した。</p> <p>訓練は公益財団法人アイメイト協会が行い、指導員とともに、エスカレーターやエレベーターの乗降、窓口受付や食堂で空席を探し伏せて待機、区役所から駅への移動などを行った。また、区役所での訓練と合わせて、西武鉄道の協力のもと、西武池袋線練馬駅などで電車の乗降訓練を行った。</p> <p>同協会は、今後も毎月5日程度、区役所での訓練を実施する予定で、区は、同団体に協力し、視覚障害者の社会参加とともに、区民の皆様アイメイトと視覚障害者の理解促進を図っていく。</p>	



エスカレーター逆走防止訓練

【訓練の様子】



椅子（チェア）認識訓練



駅での訓練



補助犬用トイレ

【導入の経緯】

本年3月、前川耀男（まえかわあきお）練馬区長がアイメイト協会を視察。アイマスクを着けてアイメイト歩行を体験した。アイメイトの訓練は、地域の店舗や道路などを利用した実地訓練がとても重要となるが、視覚障害者が使用している状態でないと、ペット扱いとなり、入店など断られる場合もある。いろいろな設備がある区役所で訓練が可能となれば、訓練効果も大きく、また季節や天候などに左右されず、計画的に実施できる。

【参考】区内の視覚障害者数 1,422人（平成29年3月31日現在）

【参考】公益財団法人アイメイト協会について（本部：練馬区関町5-8-7 代表理事：塩屋隆男）

区内においてアイメイトの育成訓練と、アイメイトを使用する視覚障害者の訓練に取り組んできた団体。昭和23年、創設者塩屋賢一氏（故人）が盲導犬育成を志し、目隠しの生活を体験しながら盲導犬の育成方法を試行錯誤で始めた。昭和32年の国産盲導犬第1号チャンピイは同協会の草創期に訓練したもので、同協会創設の塩屋賢一氏は「盲導犬の父」と呼ばれている。

平成29年7月現在、1330組のアイメイトと視覚障害者のペアが同協会から巣立っている。（国内最多実績）

【問合せ】練馬区 障害者施策推進課 管理係 電話 03-5984-4598